

平成 30 年度沖縄県観光 2 次交通機能強化事業
観光 2 次交通のオープンデータに係る勉強会

(主催：沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課)

沖縄県を訪れる観光客は年々増加傾向にあり、平成 29 年度の観光客数は 957 万 9,000 人と過去最高を記録しました。観光客の増加に伴い、受入側としての対応が喫緊の課題となっており、那覇空港のレンタカー利用者による混雑に代表されるような「観光 2 次交通」に関連する課題が顕在化しています。

このような背景のもと、沖縄県では観光 2 次交通機能強化事業に取り組んでいるところです。

今年度は、公共交通機関であるバス、モノレール、本島と離島を結ぶ足である船舶、観光客がもっとも利用するレンタカー、観光施設等の情報（データ）を、県が統一した基準で加工・オープンデータ化することで、沖縄に来る前に Google Map 等の大手検索サイトで観光地から観光地へ移動手段等を検索できるようにし、観光 2 次交通の課題解決につなげることを事業目的としております。

今回行う本勉強会では、公共交通を中心とするオープンデータの取組の第一人者である東京大学の伊藤先生、株式会社ヴァル研究所の諸星氏をお招きし、「オープンデータとは」、「そのメリット・デメリット」、「整備の事例」等について、御講演いただきます。

■日 時：平成 30 年 5 月 17 日（木）14:00～16:30

■場 所：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

- ・対象者：交通事業者、観光事業者、旅行事業者および関係団体の方等
- ・プログラム

14:00 開会・挨拶・事業紹介

14:05 講演① 「オープンデータで実現する観光 2 次交通の進化」
東京大学 生産技術研究所 伊藤 昌毅

15:15 休憩

15:30 講演② 「公共交通データ整備と、経路検索・地図サービスとの付き合い方」
株式会社ヴァル研究所 コンテンツ開発部 諸星 賢治

15:55 質疑・意見交換

16:30 閉会

講師①略歴 東京大学 生産技術研究所 助教 伊藤 昌毅



慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科、鳥取大学 大学院 工学研究科 情報エレクトロニクス専攻を経て 2013 年 10 月より現職。国土交通省 バス情報の効率的な収集・共有に向けた検討会座長、同省 公共交通分野におけるオープンデータ推進に関する検討会委員。IT×公共交通の研究者として、フィールド志向、実践志向で活動。

講師②略歴 株式会社ヴァル研究所

コンテンツ開発部 諸星 賢治

乗換案内「駅すばあと」におけるバスデータ等の情報収集、データ制作等の実務を 10 年以上担当。データを利用したサービス企画の他、オープンデータに関する活動として、民間、行政のアドバイザー、データ制作業務や全国各地における講演等を実施。標準的なバス情報フォーマット広め隊。

※本会場は、飲食物の持ち込みが禁止されておりますので、ご了承くださいませよう願いたします。